

全国ユース環境ネットワーク促進事業の報告

「全国ユース環境ネットワーク促進事業」は、持続可能な社会の担い手を育成するために、環境活動を実践している全国のユース世代(高校生を中心とした若者世代)が、交流や活動を通じて得た学びを共有し、互いに啓発することにより、更なる可能性を引き出すことを目的としています。主な活動として、全国発表大会の開催、セミナーやフォーラムなど環境イベントの実施、企業環境研修、環境情報誌の発行などがあります。今回は、第2回全国発表大会 環境再生保全機構理事長賞の副賞である北海道研修と近畿地区で開催したセミナーの様子をお伝えします。

第2回全国ユース環境活動発表大会 環境再生保全機構理事長賞 副賞 北海道研修レポート

参加団体 慶應義塾湘南藤沢高等部 有志団体 環境プロジェクト

昨年2月に開催した「第2回全国ユース環境活動発表大会」において、「環境再生保全機構 理事長賞」を受賞した慶應義塾湘南藤沢高等部の生徒4人が、国内環境研修として北海道を訪れました。

今回、受賞した有志団体環境プロジェクトの活動が、小学校での出前授業の企画運営であったため、幼稚園児向けの環境プロ

グラム作りと実践活動を組み入れました。小学生と園児では学び方が異なり事前に準備したようにいかない部分もあったようですが、研修を通して、知識を与えるだけでなく、子どもたちの気持ちを引き出し、子どもたち自身が考える授業をやってほしいという、今後の学びにも繋がりました。

研修概要

日程：平成29年8月28日(月)～30日(水) 2泊3日

訪問地域：北海道勇払郡安平町、苫小牧市

運営委託：いぶり自然学校

プログラム：○園児向けの環境プログラム作りと実践活動

○酪農家にホームステイし、酪農・畜産体験など



北海道の自然を体感



沼にどんな生き物がいるのか興味津々

近畿地区 高校生SDGsセミナー

～持続可能な開発目標(SDGs)実現のための企業の取り組みを学ぶ～

参加高校 滋賀県立八日市南高等学校、京都府立桂高等学校、大阪府立園芸高等学校、大阪府立平野高等学校、関西創価高等学校、関西学院千里国際中等部・高等部、兵庫県立神戸商業高等学校

昨年10月、近畿地区の高校生が一堂に集まり、「持続可能な社会」について学ぶ研修を行いました。基調講演と事例紹介では、SDGs達成のための企業の具体的な取り組みを知ること、ユース世代として、消費者として、できることを考える機会となりました。さらにワークショップでは、「もし、ドラえもんが2030年の世界

から来たら」という議題で、今、SDGsに取り組みなければ2030年はどうなるかを考え、その問題を解決するためのアイデアを話し合いました。環境について興味のある同世代との交流は、有意義な機会だったとの声がありました。今後もこのような高校生同士の交流する場を提供していきます。

セミナー概要

開催日：平成29年10月22日(日)

研修内容：○基調講演「2030年の私たちの未来を創造してみよう～もしドラえもんがSDGsを知ったら～」

株式会社クリーン 代表取締役 藺田綾子氏

○事例紹介「キリンの取り組み」

キリン株式会社SV戦略部シニアアドバイザー
藤原啓一郎氏

○ワークショップ

協賛：キリン株式会社

協力：株式会社クリーン、大阪大学環境サークルGECS

事務局：特定非営利活動法人いけだエコスタッフ



初めて会う生徒同士でも活発に意見交換



参加してくれた高校生の皆さん